

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公表番号】特表2006-517195(P2006-517195A)

【公表日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-028

【出願番号】特願2005-501483(P2005-501483)

【国際特許分類】

C 07 K	7/08	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	31/12	(2006.01)
A 61 P	31/10	(2006.01)

【F I】

C 07 K	7/08	Z N A
A 61 K	37/02	
A 61 P	35/00	
A 61 P	17/06	
A 61 P	31/12	
A 61 P	31/10	

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月30日(2006.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

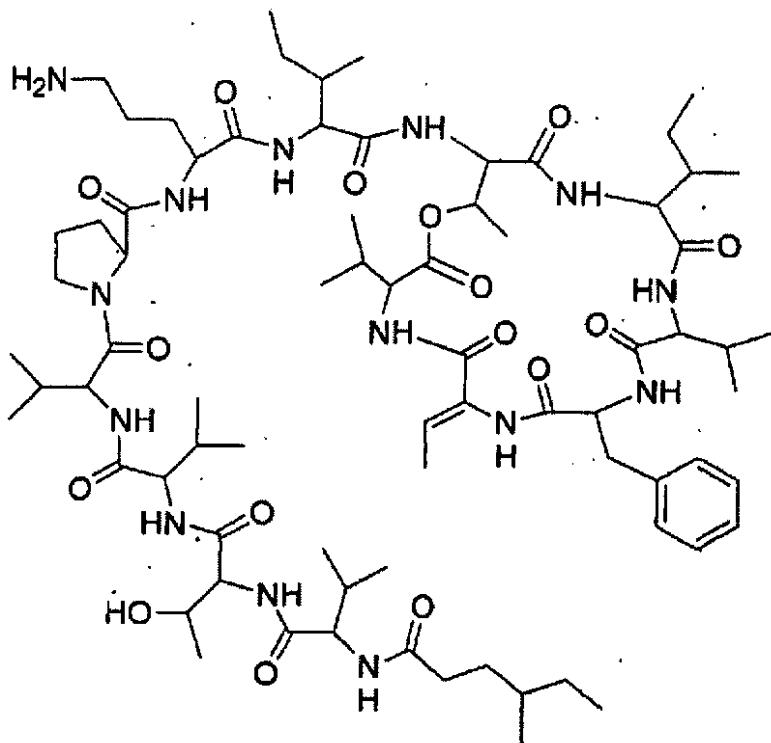
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式1:

【化1】



式1

の化合物、ならびにその製薬上許容される塩、プロドラッグ、互変異性体および溶媒和物。

【請求項2】

化合物が、(4S)-MeHex-D-Val-L-Thr-L-Val-D-Val-D-Pro-L-Orn-D-allo-Ile-cyclo(D-allo-Thr-D-allo-Ile-D-Val-L-Phe-Z-Dhb-L-Val)である請求項1に記載の化合物、ならびにその製薬上許容される塩、プロドラッグ、互変異性体および溶媒和物。

【請求項3】

化合物が、(4S)-MeHex-D-Val-L-Thr-L-Val-D-Val-D-Pro-L-Orn-D-allo-Ile-cyclo(D-allo-Thr-D-allo-Ile-D-Val-L-Phe-Z-Dhb-L-Val)である請求項1に記載の化合物、ならびにその製薬上許容される塩。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物と、製薬上許容される担体、ビヒクルまたは希釈剤とを含む医薬組成物。

【請求項5】

癌または乾癬に罹患している哺乳動物、好ましくはヒトを治療する方法であって、前記罹患個体に治療上有効な量の請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物を投与することを含む方法。

【請求項6】

哺乳動物がヒトであり、かつ癌に罹患している、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

患者が、他の治療に好反応しない難治性癌に罹患している、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

癌が、前立腺癌、乳癌、肝細胞癌、黒色腫、結腸直腸癌、腎臓癌、卵巣癌、NSCL癌、上皮癌、膵臓癌、およびHer2/neu発癌遺伝子を過剰発現する腫瘍から選択される、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

薬剤の製造における請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物の使用。

【請求項10】

癌、乾癬、ウイルス感染または真菌感染の治療用薬剤の製造における請求項1から3の何れか一項に記載の化合物の使用。

【請求項 1 1】

請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物を含む医薬組成物を含有する容器と、これとは別の再溶解剤を含有する容器とを含むキット。

【請求項 1 2】

請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物の調製方法。

【請求項 1 3】

出発原料として4-メチルヘキサン酸を用いることを特徴とする、請求項12に記載の方法。

【請求項 1 4】

(4S)-メチルヘキサン酸を用いることを特徴とする、請求項12に記載の方法。